

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2017.05.No237

5月号

目次

地域のチ・カ・ラ	1
特集 住教育出張講座	2
青年・女性の窓	4
[No.81 HOKKAIDO 建築士会 女性委員会]	
Coffee Break	5
新入会員紹介	6
information	8

URL <http://www.h-ab.com/>

～文化遺産を活かして活性化～ 地域のチ・カ・ラ



ヘリテージマネージャー特別委員会 委員長 関川 修司 (北広島支部)

北海道建築士会では、「文化資産の継承と普及啓発を推進」することを目的とした、文化庁の「文化遺産を活かした地域活性化事業」の支援を受け、平成26年から(一社)北海道建築士会はヘリテージ事業を始めた。

ヘリテージを「地域遺産」と定義づけをしている。地域低迷の現在であればこそ、地域に遺る遺産を活用して戴きたい。

他府県では、建築士会が主体であるが、北海道では、NPO法人歴史的地域資産研究機構、北海道文化財保護協会との3団体共同事業とした。各団体の特性を發揮して事業分担をし、建築士会は北海道ヘリテージ・マネジメント専門職育成講座を担当することとし、北海道独自の特徴付けをした。さらにヘリテージマネージャー(HM)、ヘリテージコーディネーター(HC)という二つの資格を設けた。平成28年度で3年目、一区切りを終えた。受講者数は、平成26年度HM23名、HC10名、平成27年度HM36名、HC15名、平成28年度HM14名、HC12名、合計115名である。この講座には受講60時間の制約がある。平成26年度は15日間、平成27年度以降は13日間として受講者の負担軽減を行った。

全国的には、全国ヘリテージネットワーク協議会が作られている。ここで大きな方針が決められた。

「ヘリテージ講座受講者が登録文化財の設計管理監督ができるように文化庁他の関係機関に申し入れをすること」、「文化財指定前の地域有形資産(建造物)に対して建築基準法の適用除外を行える機関を設ける方策を考えること」、「国宝・重要文化財の防災施設の設置整備の設計計画にヘリテージマネージャーを取得要件に加えること」、「文化庁の近現代建造物緊急重点調査事業に協力すること」、「職人団体等との連携強化すること」等々である。これらは、地域遺産を地域の方々が、より保存保全利活用し易くなることであり、まちづくりなど地域の活性化に繋ぐ

ことができる。

事業成果を見れば、受講生により函館市、帯広市に登録文化財建築物が誕生した、この動きは今後も続きそうで、それぞれの地域で地域資産の利活用に大いに役立ててくれることを期待したい。

そして最も大きな成果は、形としては現れていないが、115名の建築士、学芸員、自治体職員、ジャーナリスト等々の受講生が、建築と建築を通しての文化財(地域資産)価値、その裏側にある意味を考える意識の变革があったという。

形が見えない「無形地域遺産」の調査も平成27年度から調査を始めることとなった。無形地域遺産と言っても多岐に亘り幅が広い。建築関係職にとって、身近な「太子講」の調査から始めることとした。

太子講の存在は、さほど多くは無かったと思っていたが、建築士会全道34支部に調査の依頼をした。回答と口伝えの情報に驚いた。太子講関連施設(太子堂、聖徳神社、太子碑等)は全道120箇所程、太子祭は54箇所程で行われているという。この数は、今後も増えると思われる。さらに、これらの太子講関連施設は、全くと言って良いほど公表されていない。建築の分野ばかりでなく、民俗学的な研究もされていないことも解った。神主僧侶がそれぞれ祝詞経文をあげ散華サンゲで華葩ケハを撒く、雅楽太鼓を打つ、笙を吹く等様々な祭事があるが、まことに優雅で、このような「文化」が北海道にもまだ伝わっていないとは思ってもいなかった。形の無いモノの底力を知った。職能集団が集まるのが太子講、その集まる場所の太子堂も素晴らしい建築物が多い。

検めて見ると感激することが多い地域に伝わる遺産、十二分に文化財的・観光的価値はある。

これをマチのために、人のために、自分のために使いませんか。その目を養うのが本講座です。

本事業は、本委員会だけでその成果を出せる事業ではなく、他の委員会との連携も大いに必要である。

活躍！北の住教育男子～建築士による住教育出張講座報告～

北海道建設部の委託を受けて始まった「建築士による住教育出張講座」は、平成28年度で4年となりました。建築士向けセミナーや高等学校等での授業参観を経て講師登録された会員は、男性85名、女性62名の計147名となっています。女性委員会のイメージが強い活動ですが、実際は多くの男性会員が講師となって参加しています。平成28年は、延べ28名の男性会員が講師をしました。その中から各地域で活躍する5名が報告します。（女性委員会担当常務理事 本間恵美）



上ノ国高校住教育出張講座を終えて

苫小牧支部 佐藤 芳則

平成28年10月31日、道南檜山の
上ノ国高校での住教育出張講座に
参加しました。

金子真実教諭の明るい熱心さと
2年生23名の課題に誠実に取り組
む姿勢が伝わる講座でした。

2年生ということで、まだ一人
暮らしに対して現実味を持ってない
中での課題にも関わらず、真摯に
取り組んでくれたと思います。

間取りを考える実習の手順通り
に指導しましたが、「自分らしい
暮らし」＝「自分の生き方」＝「自
分らしさ」を自ら自分に問い、自

分を見つめる時間を持つことが出
来るのがこの講座の最大のメリッ
トと考えます。

「お前はいったいどう暮らした
いの？」と自分自身に問いかけ、
自分らしさ・個性を炙り出し、文
字として記述することによって、
自分の近い将来像をうっすらとど
も描けたのではないのでしょうか。

マンションの立地場所として6
割の生徒がマンション2（15階建）
を選んだのは、近くにコンビニが
2か所も有ったのがポイントだっ
たかと思います。コンビニは彼ら

にとって生活に欠かすことのでき
ない要因なのですね。

ゾーニングから家具の配置、間
仕切り壁・出入口口・窓の配置・
着色と作業を進めるのに二コマの
授業時間では足りませんでした
が、間取りを考える手順はしっかり身
に付いたのではないかと思います。

最終作品の完成度は、一人一人
バラツキは有りますが、将来の自
分らしい空間を具象化した間取り
図を作成した経験は、一人暮らし
を始める際に必ず役立つものと確
信しています。

住教育出張講座に参加して

北空知支部 妻神 卓八

私が北海道建築士会で「建築士
による家庭科住教育出張講座」を
行っていることを知ったのは、毎
月の会誌「建築士」の「建築士向
けセミナーのご案内」からです。
常日頃、建築士の資格を取得しな
がらも30数年が経過し、何か社会
に貢献できるようなことをしてき
ただろうかと考えていた矢先でし
たので早速、受講し講座の講師と
して登録されました。

最初に参加したのは平成27年10
月20日「夕張高校」3年A組36名
でした。初めての体験なのでどう

なるかと心配しましたが、意外と
気さくにわからないところを聞いて
くれたり、こちらのアドバイス
にも耳を傾けてくれたり、短い時
間の中で濃密な楽しい時間を過ご
させていただきました。2回目は
平成28年9月13日「旭川大学高校」
3年4組37名で、パワーポイント
で設計上の基礎知識などを説明し、
自分の未来を想像しようと授業
を始めました。生徒と話しながら
間取りを考える難しさや楽しさが
感じられました。床に今回設計す
るスペース（8.1m×5.4m）を

テープで区画したのは、空間を把握
する為の一つの方法だと感じまし
た。3回目は、降雪の中でしたが、
平成28年11月4日「滝上高校」
で行いました。1年A組の13名と
2年A組の16名の合同での授業と
なりました。1・2年生なので、
一人暮らしに実感が無いのか間取
りの作成には苦労されていましたが、
後日の感想文を読みますと意外と
楽しかったようです。このよう
な体験を通して将来一人でも建
築に携わる人が育ってくればと、
感じました。

住教育で共に学ぶ

士別支部 飯田 誠

今回、私は、旭川大学高校と滝上高校の2つの高校で講師のお手伝いをさせて頂きました。『木造住宅に携わった事の無い自分が、高校生に分かりやすくアドバイスする事ができるのか?』との不安はありましたが、何より一昨年、自分自身が興味本位で受講した(実はCPDの単位稼ぎでしたが…)住教育セミナーが楽しかったので、建築の面白さや今後、住宅を建てる時の参考になればと引き受けることにしました。

1回目の旭川大学高校では、初

めてとの事もあり、うまくアドバイス出来ない事も多く、2時間の授業でしたが、全くプランを書けていない生徒もいました。あまりに事細かく説明すると、生徒の自主性が無くなってしまい、アドバイスの少ないと全然書けていない生徒もいるなど、教える加減が難しいと思いました。2回目の滝上高校は、少しは慣れてきた部分もあり、1回目よりは、しっかりアドバイスできたかな?と思っています。

2回の授業で、思った以上に生

徒たちは、自分の生活と『住む』という事を身近に感じている事、我々のように専門的な知識が無い分、時には斬新な発想ができると感じました。私も木造住宅に携わった事が無かったので、教えるというよりは、生徒と共に学んだと思っています。今年、理由があって転職をし、現在、プレカット工場のCADオペレーターとして勤務しています。今度は木造専門なので、機会があればまた、生徒と共に学べれば良いと思っています。

住教育は面白い! 必要だ!

十勝支部 中鉢 和貴

「住教育はやりがいがある!」一言で表すとこんな感想です。

「住教育に参加してみませんか?」建築士会から案内が届いた。それは、建築士会が高校生に対して授業を行うという内容であった。細かいことはわからないが、面白そうだな! そう思ったのが参加のきっかけであった。

僕が参加したのは、帯広市内の女子高と道東の少しやんちゃな生徒が多いとの噂の高校であった。どちらの生徒たちも最初は照れくさそうにやっていたが、途中から

面白くなってきたのか、目をキラキラさせながら、熱心に手を動かして自分なりの家を創ってくれた。時間のある生徒は色塗りまでやってくれた。一生懸命やってくれる姿をみて、本当にやりがいがあると思った。彼らは、普段何気なく使っている家について、初めて色々考えてみたのではないかと思う。この授業は、建築の面白さ、家の選び方、家具の配置などに興味を持つきっかけになるもので、建築士会の活動として、とても良いものだと思う。

最後に少し自分の事に触れると、僕は民間で約10年働いた後、生まれ故郷の十勝に帰ってきて、現在は帯広市の職員として働いている。行政に入れば地域のために色々貢献できると思っていたが、組織が大きくなると、どうしても動きが鈍くなる。その点、建築士会は考えた事を迅速に実行する事ができ、活動がしやすい。そして、建築士会には意識の高い仲間が多い。数年後の十勝はもっと面白くなっていると僕は思う。

「一緒に楽しくやりましょう!」

住教育出張講座へ参加させて頂いて

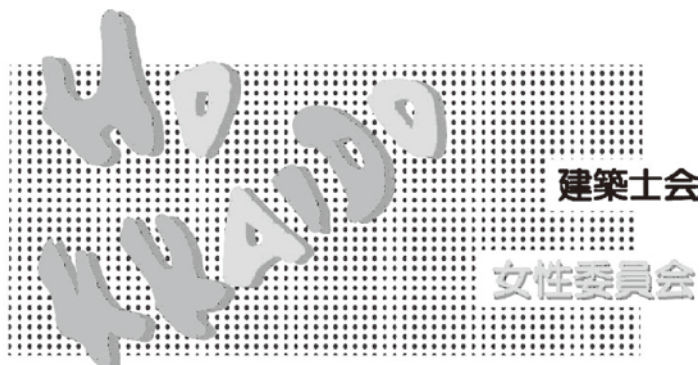
空知支部 川上 裕一

昨年9月に空知郡栗山町の栗山高校で行われた「住教育出張講座」へ参加させて頂きました。一昨年の夕張高校から2度目の授業への参加となりましたが、私としては、どちらもとても貴重な体験となりました。私にも同年代の娘がいるのですが、こうした仕事を通じてという意味では、ほとんど接点はなく、今時の高校生達の中へ「授業」として入るのですから、最初はどの様な反応が来るのか全く予測が付きませんでした。果たして建築設計というものに興味を持っ

てくれるのか。また、そもそもまじめに話を聞いてくれるのか等々……。多少の不安はありましたが、結果的には何ら問題は無く、生徒達のユニークな発想や、住生活についての考え方等も聞くことができましたし、授業そのものはあっという間に時間が過ぎてしまったというのが私の印象でした。そういう意味では、もしかすると教えていた高校生よりも、むしろ私の方が得るものが多かったのかも知れません。それほどに普段得られない新鮮なインパクトで

したし、あらためてこの建築士として仕事出来る喜びを再認識させられた次第ではあります。また、その教材を用意された建築士会の方々の労力も素晴らしいと思いましたし、今後もこうした活動の中から、少しでも多くの学生に建築士への興味が湧いて来るのであれば、建築業界にとっても、とても良い事なのだと思います。また機会があれば是非、生徒達と一緒に授業へ参加出来たらと思っていますので、関係者の皆様には今後共宜しくお願い致します。

No. 81



「第14回 啄木・雪あかりの町・くしろ」に参加して

山崎 景子 (釧路支部)

平成28年1月21日に開催された「第14回 啄木・雪あかりの町・くしろ」に、釧路支部として参加しました。

このお祭りは、石川啄木が新聞記者として釧路の駅に降り立った明治41年1月21日を記念日として大切にしつつ、町にろうそくを灯し当時を偲ぶというもので、地域市民が中心となって毎年開催されています。

これまでも紙袋ランタンの作成や会場でのお手伝いなどに参加して参りましたが、今回はより積極的に参加しようということで、「模型展示」と、ワインとチーズを楽しむ「啄木・けんちく・バル」を開催しました。

模型の展示は、教会を中心に建物を配置した「小さい町」を表現。



模型展示

準備期間が短く、十分な作り込みができませんでしたが、極寒の屋外会場では教会のスタンドグラスや窓から漏れる光が温かく感じられるようで、来場者には「綺麗ね～」という感想をいただきました。

一方、「啄木・けんちく・バル」では、「普段の生活では触れることの少ない素敵な家具や間接照明の雰囲気を訪れる皆さんに体感してもらいたい」という私たちの思いに賛同いただいた、支部賛助会員である地元の家具店、家具メーカー、照明器具メーカーのご協力を得ての会場づくりとなりました。



バル会場の様子

会場では北海道産のワインやソフトドリンクを販売すると共に、ホクレンの「地域牛乳乳製品需要拡大事業」の一環として、チーズやプリン、ヨーグルトなど道東産の乳製品を無料で提供しました。

今回は支部の参加について地元新聞に取り上げられたこともあり、多くの方々が来場くださったと共に「照明ってとても大切なんですね」、「こんな家具が欲しいです」、「ワインとチーズなんてお酒落です〜」などの言葉をかけていただき、好評のうちに終えることができました。メニューに載せた建築相談（無料）への声かけが無かったことは少し残念でしたが、今後も引き続き地域イベントに参加するなど、交流の機会を増やすことで、建築士をより身近に感じてもらえるような活動ができればと考えています。

住教育出張講座 美幌高校の取り組み

加藤 幸恵 (北見支部)

昨年11月、美幌高校にて家庭科授業の科目として、建築士による住教育出張講座を担当させて頂きました。美幌高校は、数年前に普通科と農業科が一つになり、午前と午後に分かれて、約100名という多くの生徒数でした。

女性委員会の方からは、近隣で講師が集まらなければ、他支部からの応援をとの事でしたが、さすが志高い北見支部メンバー、合わせて網走、斜里からも仕事の調整をつけ、多くの講師が意欲的に参加しました。旭川支部からも講義講師として心強い応援もあり、無事に終了することが出来ました。

普段の仕事では、「10代の生徒さんに間取りのノウハウを教える」という経験も全く無く不慣れで、生徒さんより緊張していたと思いますが、私自身もはるか昔の若い頃は、色々な方々から建築の術を教えて頂いてきた事を考えると、その時の出来なかった恩返しと、これから先の将来のある子供たちへ、建築に少しでも興味を持って貰えたら、少しの社会貢献になるのではないかと考えています。

授業終了後は、農業科の生徒さんの作った、ハンバーガーやホットドック、長芋などを講師陣が全て買占め、家族にお土産が出来たと喜ぶ顔は、すっかり講師ではなく、ただの主婦(?)の顔になっていました。



講師陣

空知支部
(美唄分会)

分会の事業活動について

事務局
永坂 純一



昨年、当分会は創立60周年を迎えたところでございます。しかしながら、当分会では高齢化の波が押し寄せており、昭和60年の会員207名をピークに年々会員が減少傾向にあり、今年度総会においては、62名となっております。空知支部12分会においても、会員不足による活動を休止している分会もあることから、建築士会の魅力や会員増加の対策を進める必要があると考えております。
事業活動では、まちの活性化と

建築士会の社会貢献活動として、毎年8月に行われる「びばい歌舞裸まつり」に出店し、こどもを対象に無料で「ものづくり体験コーナー」を設け、会員が指導しながら、実際にこども達が金づちで釘を打つなど、見て、触れて、制作にチャレンジし、ものづくりを体験していただくもので、家族連れなど多くの来場者が訪れ、ものづくりの魅力を知ってもらうことができました。

今後も参加者の皆さんに楽しんでもらえる活動を行っていきたく思っております。

また、まつりでは美唄名物の焼き鳥や鳥めし、地元産の野菜の直

販、各種イベントで多くの方が訪れ、盛り上がりしております。

最後に、空知は景色が美しく、美味しい物もたくさんある地域です。近くにお越しの際は是非お寄りください。



ものづくり体験コーナー
(びばい歌舞裸まつり)

紋別支部

これからの活動目標について

青年委員長
佐々木 誠



私が建築士会に入会してから7年が経過いたしました。その間、紋別支部の青年委員独自の活動としては、紋別市内で毎年、開催されている「もんべつが一番きれいになる日」の清掃イベントへの参加のみにとどまっております。活発な活動とは言えない状況でした。

そのような現状を打破すべく、本年度から気持ちを新たに、活動を少しずつ盛り上げていきたいと

考えています。4月には、企画第1弾として、紋別市内で建設中の公営住宅の工事現場への見学を考えており、参加予定者の数も良好な状況となっております。その他にも、「もんべつ流水まつり」へ出展する氷像造りなど、地域の行事にも積極的に参加するために担当者を指名して協議を始めたところです。

本年度は、新規事業の開催にあたり、不慣れな部分も多いため、本部や他支部で行っている活動を参考としながら進めていくことが多くなると思われまます。そして、

そこで得られた経験を基に、仲間と共に紋別支部ならではの活動へと発展させていく事が私の青年委員長としての最終的な活動目標としています。

そのために、建築士会の行事には積極的に参加し、経験したことや他支部での活動状況などの情報を収集していきたいと考えておりますので、各種イベントでお話しさせていただく機会がございましたら、ご教授の程、よろしくお願いたします。

**平成29年 青年建築士の集い
開催のお知らせ**

- 日 時：平成29年5月20日(土) 14:00~17:00
- 開催場所：協議会 苫小牧市文化交流センター(アイビープラザ)2階講習室
苫小牧市本町1丁目6番1号
- 内 容：第1部 とびだせ全国大会へ！
地域実践活動発表選抜選手権
第2部 講演会『民族共生象徴空間の整備目的・国立アイヌ民族博物館建物基本設計の内容について』
- 参加人数：34支部 70~80名程度

講習会のご案内

平成29年監理技術者講習

- 開催場所 【函館】(一社)北海道建築士会函館支部事務局会議室
5月18日(木) 7月20日(木)
9月21日(木) 11月16日(木)
【旭川】旭川市勤労者福祉総合センター
6月26日(月) 10月30日(月)

締切りせまる

**平成29年
(一社)北海道建築士会会員作品の募集**

応募対象

- ①対象建物 平成25年以降に竣工し、検査済証の交付を受けた建物で、その用途、規模等は問いません。ただし、確認申請を要しない建物は、検査済証は不要です。
- ②対象者 本会の正会員(応募建物の設計、及び施工管理者等、責任ある立場で建築に携わった者に限ります)
- ③応募作品 1人若しくは1グループで1点とします。

所有者等の了解

予め所有者、管理者等の了解を得てください。

応募締切

平成29年5月19日(金) 必着

応募資料

- ①申込書 所定の申込書を本会HPからダウンロードして記入してください。
- ②提出資料 図面(平面図・断面図・配置図等)及び完成写真(内・外装)等の画像データ3点と上記申込書を、CD-ROMに記録して提出してください。(応募作品は返却しません)

作品掲載

応募作品のすべては、本会ホームページに掲載します。また、その中から4点程度を選考し「北海道建築士No241」に掲載します。
※詳細は、北海道建築士会HPをご覧ください。

新入会員紹介

はじめまして！宜しくお願いします！

市原 直典（苫小牧支部）



■ 勤務先

白老町 建設課 住宅・建築指導グループ
建築グループ兼任

■ 仕事内容

確認申請業務、営繕業務、公営住宅管理業務、空家廃屋対策など

■ 入会年月日

平成28年5月1日

■ 建築士会での活動

現在は支部の青年委員会のお手伝いなど

■ 建築士会入会のきっかけ

建築を通じて様々な技術や知識を諸先輩方から学び、業務や私自身へのスキルアップ向上につなげたいと思い入会しました。また職場が支部分会の事務局ということもあり入会しました。



地元工業高校建築科で建築を学び、道内の大学で建築環境工学を専攻し、卒業後は地方自治体の建築技術職として奉職しております。

現在の部署は都市計画以外すべての項目で業務しています。

北海道という四季がはっきりした美しい大地で、寒冷地の特色を生かした建築を学びながらスキルアップ向上とフィールドワークを用いて日々の業務に役立てています。

また私自身、学生時代から「建築」というキーワードで沢山の方々に出会い、学び、そして支えられて来ました。建築士会の会員の諸先輩方に様々なことを学び、これから先へつなげていきたいと思っています。

まだまだ修行の身ではありますが様々なことに挑戦し

一生懸命頑張っていきたいと思いますのでご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します!!!



苫小牧支部白老分会で毎年開催しているパークゴルフ大会でのひとコマ
(残念ながらプレー中の写真は撮っていません…)

準会員（資格が無い）

隅谷耕太郎（日高支部）



■ 勤務先

新ひだか町役場

■ 仕事内容

確認申請受付、建設リサイクル法事務処理業務など

■ 入会年月日

平成28年4月

■ 建築士会での活動

全道大会（室蘭大会）がデビュー戦でした

■ 建築士会入会のきっかけ

職場の先輩からの勧誘（圧力）



自己紹介をします。こんにちは、隅谷耕太郎と申します。西武ライオンズの炭谷銀次朗選手とのかかわりは一切ございませんので、サインなど貰いに行くことは出来ません。（僕のでければ書きます）趣味は役場のチームでやっている野球とキャンプです。とにかく外で活動するのが好きなアウトドア派です。これからよろしくお祈りします。タイトルにもありますが私はまだ、建築士の資格がありません。ですので準会員として建築士会に入会しました。

入会のきっかけは、職場の会員の方にすすめられて入会することになりました。高卒ルーキーということで3年後の受験を考えております。まずは、職場の建築士の先輩に沢山勉強させていただき、建築士取得にむけて頑張っていきたいと考えています。士会の活動にも積極

的に参加していきたいと思うのですが私と年の近い会員が少ないと感じたので、どうか若い世代の会員が増えるように活動していきたいです。元気で士会を盛り上げられるように頑張ります！



日高支部の先輩たちと

ようこそ建築士会へ 一緒に楽しんで、学んで、そして発信しましょう！

建築士会に入会して

荻野 美加（旭川支部）



■ 勤務先

(株)柴滝建築設計事務所

■ 仕事内容

主に意匠設計

■ 入会年月日

平成28年4月27日

■ 建築士会での活動

旭川支部女性委員会の事業に参加

■ 建築士会入会のきっかけ

先輩の勧めで



私が入会を決意したきっかけは、会社の先輩からでした。特に女性委員会では、建築だけに関わらず、カラーコーディネートや勉強会や着物で食事会、パワースポットめぐりなど様々な活動をしており、純粋に楽しそうに活動していると感じました。また、その中で女性ならではの意見や経験など聞くことができ、発見や学ぶことが沢山あると思ったからです。

日頃の業務では、主に公共建築物の意匠設計などに関わっております。その地域や特性、施主の要望、将来の事、デザインなど非常に複雑で難しく重要な仕事ですが、それを受け入れ解決しゼロから建物を作り上げていく事に魅力を感じています。それと同時に様々な知識や技術、経験が必要だと感じ自分の至らない点に落ち込むこ

ともありますが、日々勉強し成長していきたいと考えています。

私生活では、専らインドア派なので、これからは建築士会の活動に積極的に参加し、外に目を向けていきたいと思っています。

今後は建築士会の活動や勉強会などを通じて様々な人と交流することで、経験や知識を培い、また地域社会に貢献し、旭川の街づくりや発展に寄与していければと思います。これから何卒よろしくお願ひいたします。



土から木へ

佐川 貴康（上富良野支部）



■ 勤務先

株式会社佐川建設

■ 仕事内容

施工管理、設計、技術検討

■ 入会年月日

平成28年12月

■ 建築士会での活動

これから幅広く参加させていただきます

■ 建築士会入会のきっかけ

父からの紹介で入会させていただきました



このたび父の会社を手伝うため、故郷の北海道で木造住宅の世界に飛び込むことになりました。

東京の大学を卒業後、鹿島建設(株)へ入社し現場監督としての教育を受けた後に、地盤工学の専門家として山留め等の仮設から、杭基礎・直接基礎・地盤改良等の本設に関わる技術指導や研究開発にあたりました。東京の物件を中心に北海道や東北まで幅広く担当しましたが、中でも震災後の福島第一原発敷地内の緊張した空気や、海岸沿いの造成地に墓石群が並ぶ光景は、建設業の社会的責任を意識するうえで非常に強く印象に残っています。

東京では毎日夜遅くまで、あるいは休日も返上で、時に喧嘩しながらもより良い建物をつくるため努力する人

達に囲まれてきました。北海道でもこの貴重な経験を胸に、常に自己研鑽を忘れず、本建築士会に貢献できる人材になることを目指します。

最後に趣味の話を、これまで自転車旅行で東京から鹿児島までを走りました。そこで今度は、本建築士会に入会中に東日本を走破することを私的な目標にしたいと思います。自転車旅行はその土地の空気を肌で感じ記憶することができるため充実度が高く、ぜひ皆様にもお勧めしたい趣味の一つです。

どうぞよろしくお願ひいたします。



趣味は自転車旅行

CPD認定プログラム(4月認定)

◆平成29年度北海道ヘリテージ・マネジメント 専門職(第四期)育成講座(全13回)

《日程及び会場》平成29年6月17日(土)
13:00~18:30
北農健保会館(札幌市)他全13回
《単位数》2単位~6単位
《問合せ先》北海道文化遺産活用活性化実行委員会
TEL 011-271-4220

◆平成29年青年建築士の集い(苫小牧大会)

《日程及び会場》平成29年5月20日(土)
14:00~17:00
苫小牧文化交流センター(苫小牧市)
《単位数》3単位
《問合せ先》(一社)北海道建築士会
TEL 011-251-6076

道士会の動き

道本部の主な会議報告(4月)

◆第2回総務委員会

- 《開催日》4月15日(土)
《議題》1) 第62回建築士会全国大会(北海道大会)の大会テーマの検討について
2) 第42回全道大会(後志大会)の実施計画(案)について
3) 第43回全道大会(士別大会)の開催日程(案)について
4) 平成29年一般会計収支予算の補正(案)について
5) (公社)日本建築士会連合会会長表彰推薦者(案)について
6) (一社)北海道建築士会会長表彰推薦者(案)について
7) 専攻建築士の認定審査に関する基準を定める規則(審査基準)の改正(案)について
8) 継続的な能力の開発の促進に関する規則に基づくプログラム審査評議会及び専攻建築士審査評議会評議員の委嘱(案)について
9) 平成29年支部長・支部事務局長合同会議について
10) その他

◆第1回事業委員会小委員会

- 《開催日》4月14日(金)
《議題》1) 既存住宅状況調査技術者講習の実施について

◆第1回情報委員会

- 《開催日》4月8日(土)
《議題》1) 平成29年予算及び事業計画について
2) 会誌「北海道建築士」について
3) 全道大会号外の発行に向けて
4) ホームページについて

◆第2回本部青年(WEB)会議

- 《開催日》4月15日(土)
《議題》1) 青年建築士の集いについて
2) 建築士(会)周知イベント(建築士の日イベント)について
3) 全道大会について
4) その他

関係機関等会議参加予定(5月)

- 9日(火) 北海道住宅リフォーム推進協議会総会 高野会長出席
15日(月) 建築系CPD協議会運営会議 高野会長出席
18日(木) 日本建築士会連合会第1回総務・企画委員会 鈴木副会長出席
25日(木) 日本建築士会連合会正副会長会議 高野会長出席
26日(金) 日本建築士会連合会理事会 高野会長出席・吉木副会長出席
29日(月)~30日(火) 建設系CPD協議会運営委員会 高野会長出席

道本部の主な行事予定(5月)

- 第2回理事会 《開催日》5月19日(金)
■青年建築士の集い 《開催日》5月20日(土)
■まちづくり委員会WEB会議 《開催日》5月27日(土)

支部からのお知らせ

《札幌支部》TEL 011-232-1843

「二級建築士受験者講習会(学科)」

6月3日(土)4日(日) 大五ビル2階会議室

「一級建築士受験者講習会(学科)」

6月24日(土)25日(日) 大五ビル2階会議室

「二級建築士受験者講習会(設計製図)」

8月27日(日)9月3日(日) かでの27

詳細は、札幌支部HP (<http://www.h-ab.com/sapporo/>)で確認ください。

※笠原爺イの釣り日誌はお休みします。

編集後記

いよいよ桜のシーズン到来!お花見の計画は順調ですか。

今号は、「地域遺産」ヘリテージの活動を掲載しました。北海道に「太子講」関連の施設やお祭りの数の多さに驚きです。

年々会員数が減る一方、各支部・各委員会での活動は盛んに取り組んでいるのがうかがえます。「住教育」もすっかり根付いた事業で、力強さを感じます。

新入会員のみなさんもこれから諸先輩方と各事業に参加し、活躍し、そして一緒に感動しましょう。

情報委員会 柳山美保子(札幌支部)

情報委員会委員長/早川 陽子
副委員長/齋藤 勝哉・高松 徹・森 勝利
委員/熊谷 智・柳山美保子・鈴木 雅人
柏倉 晶憲

北海道建築士 No.237号

印刷 平成29年4月/発行 平成29年5月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011)251-6076番
URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011)811-7151番